



教育だより 10月号では、AOBA ナースの活動報告をお伝えします。
今回は、H26 年度に認定された AOBA ナース 5 名を紹介します。



宮城県立こども病院 佐藤 優子さん

わたしは、AOBA ナースとして病棟の教育係や当院での新人研修の講師として活動しています。今年度は新人研修として「吸引」「酸素療法」「経管栄養」「フィジカルアセスメント」研修の講師を担当させていただき、各病棟の新人教育担当のスタッフにファシリテーターとして参加してもらいながら、研修を実施しています。「フィジカルアセスメント」では当院の新人研修としては初めて院外研修を計画し、良陵会館のラボを使用し実施させていただきました。研修を組み立てる上で、AOBA ナースとして学んだことがすべての基礎となっており、研修での学習内容を活用しながら各研修を計画・実施しています。今後も、新たに AOBA ナースとなったスタッフと協力し、効果的な教育活動が行っていきけるよう努力していきたいと思っています。

仙台市内の他病院では5名の
AOBA ナースが活躍しています！



西 17 階病棟 近藤 幸子さん

私は、部署（緩和ケア病棟）での看護力がアップし精神的に疲弊する後輩やスタッフの相談役にになりたいと思って働いています。教育係と協力しデスカンファレンスの定着や、トータルペインの視点での疼痛マネジメント力向上に頑張っています。また、他部署の AOBA ナースと連携した勉強会を予定しています。



西 5 階病棟 櫻庭 美鈴さん

部署では教育係として教育計画に携わり、経験年数やニーズを把握し講義を行いました。今年度は初めての院内研修ファシリテーターを担当しました。経験したことをスタッフ教育に活かしていきたいと思っています。



東 13 階病棟 豊岡 藍さん

病棟では教育係を担当しています。副看護部長として、係メンバーがスタッフ教育活動に臨めるよう、部署教育にかんする全体性や方向性を提示するよう心がけています。



西 9 階病棟 庄子 圭さん

今年は病棟で教育係として活動しています。教育計画や研修計画を立案する時に、レディネス把握をして学ぶ側の「習得状況」を考えたり、教える側の「時期」も考えて講師をお願いする等、AOBA ナースプログラムで学んだ事を実践に活用できていると感じます。日々の看護において、AOBA ナースとして常に冷静でいる事を心がけております。

